

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和 6年 3月
学校法人 国本学園
国本幼稚園

1 本園の教育目標

- ①人への思いやりや礼儀を大切にする心を育む
- ②自分から興味関心を持ち、物事に取り組み、よく考え、工夫し、表現する力を身につける
- ③友だちとの交流の中で、忍耐力、我慢強さ、協調性を育む
- ④園外保育や農園体験を通して自然に親しみ、感動する心を育てる
- ⑤国際化するこれからの社会で活躍できる語学力と行動力を身につける

2 本年度重点的に取り組む目標・計画

幼稚園生活の中で「豊かな感性（3-1）」と「国際感覚（3-2）」を養い、将来社会の中で大きく伸びていく子どもたちを目指す
安心、安全な幼稚園と信頼され、丁寧な保育を目指す（3-3）

3 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	カリキュラムにあるリトミックを教育の特色としてより強化していく。歌や豊かな身体表現を通して心と身体の調和を育み、友だちとの協調性を確立していく。	C	リトミックの源流であるヨーロッパ発祥のダルクローズメソッドを用いて指導する専門家を外部より月に1度迎え、保育の中に取り入れる。 また、専門家の指導方法を直接見て学び、保育者のスキルアップにもつなげていく。普段の保育現場でもリトミックを取り入れ、子どもたちの豊かな感性や表現力を養う。
2	昨年度以上に英語に触れる時間を増やす。生活の中に英語活動を取り入れ、国際感覚を養い、英語でのコミュニケーション能力を高めていく。	B	昨年度週に1回程度だった英語の時間を増やす。 外国人講師を週3回迎え、自由遊びや保育活動の中、年少児からネイティブな英語の発音に自然と触れ合う環境を設定する。毎週少なくとも1回の30～40分のレッスンではゲームやダンス、歌など五感を通して英語に触れ、思考力判断力表現力を培いながら国際感覚を身に付けていく。
3	園の行事の活動内容や実施方法について見直し、子どもたち自身が喜び、感動し、達成感等を味わうことが出来るよう援助をする。	A	幼児主体の行事となるように各行事の目的や意義について職員間で共通理解をし、年齢に応じたねらいや内容を設定する。保護者も共に参加保育、記念祭、運動会など子どもたちと体験する機会を設け、園生活や幼稚園の教育方針の理解を促し、安心して預けられる幼稚園を目指す。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

4 総合的な評価結果

評価	理由
B	英語はレッスンの時間を増やし、外国語講師との自然な関わりを持つことが出来た。しかし英語でのコミュニケーションをとるところまでは達していない。リトミックは6月からの開始となり十分な時間をとることが出来なかった。引き続き定着を図っていきたい。行事の見直しについては概ね実現できた。子ども主体で計画し普段の活動の成果を発表する機会となった。

評価（A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった）

5 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	預かりの拡充	預かり時間を増やすことで子どもたちの生活に影響があると考えられる。子どもたちにとって安心でより良い生活・教育環境を作っていく。（アフタースクール、環境整備など）
2	幼小連携	国本小学校との連携を強化する。架け橋プログラムを計画し子どもたちが主体となって幼児教育から学校教育へスムーズに移行できるようにする。学園施設を有効活用し、伸び伸びと身体を動かし充実した幼稚園生活を送る。
3	英語の定着	引き続き英語講師を招いてより一層の英語教育の充実を図る。アフタースクールで年少組からの英語活動も増やす。

6 学校関係者評価委員会の評価

○全体について

自己評価が非常に適切。また、リトミック、英語、園行事の体験をその場限りに終わらせるのではなく、その後の保育に繋げる姿勢が素晴らしい。また、きちんと評価するだけでなく、課題もしっかり見据え、次に生かそうとしている。そのプロセスを丁寧に行っている。

○リトミックの強化

リトミックは最初何をしているかわからなかったが、実際に見て理解できた。子どもたちに取り組み成果が表れてくると保護者満足に結びついてくる。長期的な取り組みが必要だと思う。

○英語の強化

リトミックと同様に長期的に取り組んでいく必要がある。英語についての保護者の評価が少し低い。他の幼稚園と比較してなのか、通っている英語教室と比較してなのかわかると、課題が見えてくる。ネイティブの先生が不在でも、英語に親しめる環境を工夫して作ると良い。

○園行事の見直し

園行事が元どおりになり、喜んでいる保護者が多い。保護者の保育への参加は、幼稚園理解を深め、そこからいろいろな可能性が広がる。できるだけ保護者が参加する機会が得られるよう、幼稚園がサポートしてもらいたい。

○保護者アンケート結果について

厳しい評価もあるが、謙虚に受け止め、次に生かしていけば良い。子どもたちの満足をいかに保護者に伝えていくか、共有化できるかが保護者満足に繋がっていくと思う。